

水戸まごころタイム「ふるさと水戸」～もっと知って伝えよう

水戸市立千波中学校

1 本事業への思い（ねらい）

水戸市では、水戸スタイルの教育を推進しており、その中の「キャリアプラン」では、郷土を愛する心を育てる教育の充実を図っている。その一つである水戸教学の推進では、水戸の先人の教えを基底に、次世代をリードする人材を育成するため、郷土愛醸成、郷土理解、生き方学習を行っている。

本校では、水戸まごころタイムにおいて、水戸教学の学習を行っているが、生徒がふるさと水戸のよさに改めて気付くとともに、多くの人との関わり合いの中で豊かな心を育んでいくことをねらいとして、1年生で体験活動（水戸市内校外学習）を設定している。この活動の実施にあたり、子どもの体験活動に学校以外の新たな視点を加え、ふるさと水戸のよさについて再発見できるようにするため、本事業に取り組むこととした。

2 活動の実際

(1) 教育課程

水戸まごころタイム（水戸教学、課題解決学習）

(2) 実施時期

令和6年12月～令和7年2月

水戸市内校外学習は、令和7年度2月4日（火）に実施

(3) 対象

第1学年 3クラス 93名

(4) 活動の計画（校外学習）

2月4日（火）第1学年 水戸市内校外学習行程表														
番号	施設の名称	人数	8:20	8:40	9:00	9:20	9:40	10:00	10:20	10:40	11:00	11:20	11:40	12:00
1	常陸国立歴史館	5	8:30学校発		9:20歴史館到着	歴史館						11:20歴史館発		12:10学校着
2	大市民理ふれあい公園 緑風文化財センター	5	8:30学校発	8:57水戸駅北口発	9:23大市民公園到着	大市民公園					11:00大市民公園発	11:30常陸駅到着	11:45常陸駅出発 11:57水戸駅到着	12:10学校着
3	お菓子夢工場	5	8:30学校発		9:08水戸駅発 9:26水戸駅北口発 9:26水戸駅北口着	お菓子夢工場					11:31水戸駅北口着 11:31水戸駅北口発	11:55水戸駅北口着		12:10学校着
4	徳川ミュージアム	5	8:30学校発		9:11水戸駅発	9:24徳川二丁目着 9:30徳川ミュージアム着	徳川ミュージアム				11:00徳川ミュージアム発		11:39徳川二丁目発 11:55水戸駅着	12:10学校着
5	信楽園	6	8:30学校発	8:48水戸三丁目発	9:08常盤神社入口着 9:18信楽園到着	信楽園(好文亭)						11:25常盤神社入口発	11:46水戸三丁目着	12:10学校着
6	信楽園・常盤神社	5	8:30学校発		9:30信楽園到着	信楽園：平塚さん	10:10信楽園発 10:20常盤神社着	常盤神社	10:40常盤神社発 信楽園付近のバス停へ	11:05バス停着		11:47学校着		
7	信楽園	6	8:30学校発		9:05水戸駅着 9:10水戸駅発（バス） 9:22信楽園入口着	信楽園（好文亭）						11:24信楽園入口発	11:38水戸駅着	12:00学校着
8	水戸芸術館	6	8:30学校発	8:50水戸駅着 8:55水戸三丁目着 9:00水戸三丁目着	水戸芸術館							11:27水戸三丁目着 11:35水戸駅着		12:00学校着
9	水戸コンベンション協会 常盤ビル	6	8:30学校発	8:51水戸駅着	9:05水戸 コンベンション協会着	9:35水戸コンベンション協会発	10:30橋本金物店着			橋本金物店		11:10橋本金物店発		12:00学校着
10	だるま食品 信濃五郎商店	6	8:30学校発	9:10だるま食品着	だるま食品			10:00だるま食品発 10:20天狗納豆着	天狗納豆			11:15天狗納豆発 11:30記念碑（水戸駅南口）着 11:35記念碑発		12:00学校着
11	吉田神社・水戸八幡宮 常盤神社	5	8:30学校発	8:40吉田神社着	9:00吉田神社市街着 9:10水戸駅北口着	9:23水戸駅北口発 9:25八幡宮入り口着	八幡宮	10:07八幡宮入口発 10:12大士町着	10:37大士町発 10:49常盤神社入口着	常盤神社	10:49常盤神社発			12:10学校着
12	水戸市役所・常盤五郎商店	6	8:30学校発	8:46水戸市役所着	水戸市役所			10:00水戸市役所発 10:25天狗納豆着	天狗納豆		11:25天狗納豆発	11:50吉田古墳入り口着 12:00学校着		
13	千波湖・信楽園・常盤神社	5	8:30学校発		9:10千波湖着	千波湖	9:45千波湖発 9:55信楽園到着	信楽園				11:30信楽園出発 11:40常盤神社到着	11:50常盤神社発	12:10学校着
14	信楽園・千波湖 ・水戸市役所	5	8:30学校発	9:00信楽園着	信楽園（好文亭）		9:40信楽園発 9:50千波湖着	10:20千波湖発	11:00水戸市役所着	水戸市役所		11:45水戸市役所発		12:00学校着
15	明利酒類	5	8:30学校発 明利酒類着		明利酒類								11:40明利酒類発 学校着	
16	徳川ミュージアム・信楽園	5	8:30学校発	8:50バスで信楽園へ	9:29信楽園着	信楽園		10:10信楽園発 10:28徳川 ミュージアム着	徳川ミュージアム		11:22千波山（バス停）発	11:57学校着		
17	水戸市役所・千波湖	5	8:30学校発 8:50市役所着	水戸市役所		9:20市役所発	10:00千波湖着	千波湖					11:30千波湖発	12:00学校着

(5) 体験先の様子

「特定非営利活動法人 ひと・まちネットワーク」の協力を得て、20 件の施設を訪問することができた。受け入れ先は、酒類や納豆などの食品製造業者から、水戸市役所や水戸芸術館など市の施設と、多岐にわたった。

明利酒類株式会社

○ 体験したこと

- ・ 実際に工場を見学しながら、どのようにしてお酒が造られているのか酒類の製造過程を学んだ。
- ・ 製造を担当している方から、どのような商品があるのか、どのように製造管理しているのか話を聞いた。

○ 生徒の感想

- ・ お酒を造る大変さを知ることができた。
- ・ お酒だけではなく、消毒液の製造など、安心と安全を支えるための商品を作っていることを知った。
- ・ 私たちもだれかのために一つのことをみんなで協力して達成できるような人になりたいと思った。

水戸天狗納豆 笹沼五郎商店

○ 体験したこと

- ・ 工場を見学しながら、どのようにして納豆が作られているのか学んだ。
- ・ 納豆が食べられるようになった理由や、どのような商品があるのか話を聞いた。

○ 生徒の感想

- ・ たくさんの人が地域のために尽くしていることが分かった。
- ・ 自分たちも地域の人たちのためにできることを考えて行動していきたいと思った。
- ・ 納豆はおいしくて健康に良いことが分かったので、これからも納豆を積極的に食べていきたい。

亀印製菓 お菓子夢工場

○ 体験したこと

- ・ 工場を見学しながらどのようにして商品が造られているのか学んだ。
- ・ 広報担当の方に商品についてインタビューを行った。

○ 生徒の感想

- ・ 水戸のお菓子の歴史について知ることができた。
- ・ お菓子夢工場で作られているお菓子には、たくさんの人の思いが込められていることが分かった。
- ・ お菓子には栗やさつまいもなど、茨城で作られた食材を使って、みんなが「おいしい」と思うようなお菓子を作っていることが分かった。

偕楽園・好文亭・千波湖

○ 体験したこと

- ・ 偕楽園では、市民観光ボランティアの方から施設の歴史や見どころについて教えていただきながら見学した。
- ・ 好文亭の見学

○ 生徒の感想

- ・ 千波湖と那珂川があったからあの場所に水戸城が建っていたということが分かった。
- ・ 偕楽園には、徳川斉昭の政治に対する思いや反映されていることが分かり、改めて水戸の歴史について考えることができた。
- ・ 水戸は、来年の船中泊で訪問する北海道と歴史や文化についてどんな共通点があって、どんな相違点があるのか知りたいと思った。そのために水戸の良いところについてもっと調べていきたい。
- ・ 好文亭では、室内の装飾が細かく作られており、とても感動した。昔の人たちの技術のすごさを知ることができた。
- ・ ボランティアガイドの方の話を聞いて、偕楽園について、「これからもみんなで大切にしていきたい」という思いをもって活動していることを知ることができた。



写真1 明利酒類株式会社



写真2 水戸天狗納豆 笹沼五郎商店



写真3 亀印製菓 お菓子夢工場

(6) 振り返りの時間について

校外学習を行った日の午後に、タブレット端末のプレゼンテーションツールを用いて、班ごとに活動内容をまとめた。その後、授業参観でまとめたことを発表する場を設け、互いに活動の内容を振り返った。

3 成果と課題

(1) 成果

生徒が主体的に課題を発見し、その課題を解決するために体験学習を行い、体験を振り返り、まとめたことを発表したことで、主体的に行動する力、友だちと協働して課題を解決する力が身に付いた。その際、NPO法人の方々の協力があつたことで、生徒は自分たちの希望にあつた場所でいきいきと活動することができた。生徒は、地域の方々とのふれあいを通して、地域の職業やよさを知ったり、水戸への郷土愛や自然への畏敬の念をもったりすることができた。

加えて、バスや鉄道などの公共交通機関を使ったグループもあつた。行動計画を立てながら、交通に関する学びにふれることができた。当日、時間通りのバスに乗ることができなかったグループはあつたが、地域と連携・協働して行うことができたため、最後まで安全に実施することができた。

(2) 課題

校外学習までの準備期間が短かつたものの、NPO法人の方々の協力のおかげで円滑に訪問先が決まり、計画を進めることができた。今後も生徒の主体性を生かした探究的な学習の充実を図るために、引き続き連携・協働を継続していきたい。